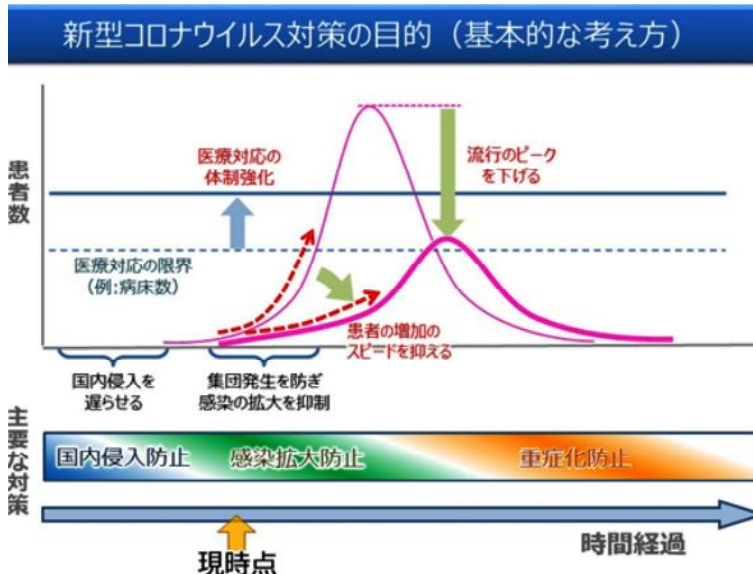


新型コロナウイルス感染症対策のご提案

2020年3月13日

1. 『対策の基本方針』の内容と現在の窮状



※2/25 決定内容（厚労省HPより）

- ・基本方針は「社会・経済機能への影響を最小限」としつつ「感染拡大の抑制効果を最大限」
- ・人々は患者数が医療対応に迫るかに構わず「感染ゼロ」のみを希求し社会・経済が大きく衰滅

2. 過剰自粛は世界大恐慌を導く

- ・国民は総理のイベント自粛・休校要請や専門家会議の回避標準を上回って会合や行動を過剰に自粛
- ・ほぼ全業種の売上減・業績悪化・株価下落・所得減を招き、諸外国も同様となり世界大恐慌を誘導

3. コロナ克服の社会最適策

- ・客観的に評価して、全国の感染者1,000強と死者10数名は日本の医療水準に比し極めて低レベル
- ・一部感染者が重篤となるが、それは従来型コロナも同様で、社会を衰滅させるほどの自粛は過剰
- ・国民に健康行動を継続しつつ自粛を最小化することを求め社会・経済機能を回復させるべき
- ・高齢・若年者で感染後の重症化率・致死率が大きく異なる新型コロナの特性を踏まえた自粛基準に

4. 具体的なコロナ対策

- ・以下を国民共通の理解に

感染の拡大「抑制」のみが必要であり、感染「ゼロ」の追及は世界大恐慌を導く

人類は繰返しのパンデミックを人口一定数の免疫抗体獲得により克服してきた

- ・軽症者への自宅療養の推奨を含め検査・医療体制を徹底的に整備
- ・体調不良時の休養、手洗い・マスク・消毒等の健康行動を国民に徹底的に要請
- ・大規模または長時間の会合に60代以上は原則参加禁止、50代は参加自粛を検討
- ・会合の自粛基準を明確化し、地域別に患者数が医療対応に迫りそうなら基準を強化、余裕なら緩和
当面2週間は500人程度以上のイベントに限定
それ以外は「喚起の悪い密閉空間」and「多くの人が密集」and「近距離での会話や発声」に限定
深夜までの実施、体調不良・過労での参加等、免疫力を低下させる行動を禁止
休校は原則取りやめ、患者数が医療対応に迫りそうな地域に限って実施
- ・自粛基準外の会合や観光行動・出張は通常通りに実施し全国民の力で社会・経済機能を回復させる